



環境保全米通信



冬号

2023年12月発行

【もくじ】

1. みやぎの環境保全米「新米試食会」を3年ぶりに開催
2. 「環境保全米横断幕」でマイナビ仙台レディースを応援
3. 登米総合産業高等学校の出前授業がラジオ番組で放送
4. 登米産の環境保全米が買える店「北一米穀店」
5. 環境保全米通信読者アンケートから



バックナンバーも
ご覧下さい。
(JA宮城中央会の
HPにリンク)



アンケート募集で
お米プレゼント!
詳細は最終面



『みやぎの環境保全米』とは

宮城の自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を県の標準の使用量の半分以下に減らし、自然と人間の力を合わせて生産されたお米です。みやぎの「環境保全米」の取り組みは1992年のリオデジャネイロ地球環境サミットをきっかけに始まっており、SDGs（持続可能な開発目標の実践）そのものです。

1 みやぎの環境保全米「新米試食会」を3年ぶりに開催



挨拶するみやぎの環境保全米県民会議・佐野会長

「みやぎの環境保全米」の新米試食会が10月3日、ホテルモントレ仙台（仙台市青葉区）で開催されました。

みやぎの環境保全米県民会議とJAグループ宮城が主催し、県民会議の委員や県内のJA、学校給食関係者や消費者代表者、市内の大学生ら約60人が参加。「ひとめぼれ」「ササニシキ」「つや姫」「だて正夢」の新米4品種を食べ比べ、猛暑を乗り越えて収穫された新米のつや、粘り、香りを堪能しました。4品種を見事に当てた、みやぎ生協地域代表理事の藤本富江さんは「味、香りなどそれぞれの違いが分かった。どれもおいしくいただいた」と感謝していました。また、卒業論文で米についての学生の関心度を調査しているという仙台白百合女子大学の学生は「環境保全米がもっと広がってほしい」と話していました。

基調講演では、NPO法人環境保全米ネットワークの高橋芳道理事長が、「環境保全米づくりの歩みと目指す方向について」と題して、令和3年産ではみやぎ米飯学校給食支援方式に参加する県内32市町村中、30市

町村の小中学校で学校給食に環境保全米が使われていることを紹介し「次世代を担う子どもたちに、人と自然環境にも優しい宮城のお米に誇りをもってもらいたい」と強調しました。

同日は、在仙プロスポーツチーム4チーム（楽天野球団、ベガルタ仙台、仙台89ERS、マイナビ仙台レディース）に、それぞれ環境保全米ひとめぼれ新米60キを贈呈しました。

県内の環境保全米の作付面積は、約16,207㌦（6月末時点）で前年度より約168㌦増加、主食用米の約3割を占めています。



ライシーレディが新米を紹介



基調講演を行う高橋芳道理事長



炊き上がった新米をほぐす調理師



新米を試食する参加者

2 「環境保全米横断幕」でマイナビ仙台レディースを応援



みやぎの環境保全米県民会議とJAグループ宮城は、9月7日マイナビ仙台レディースの練習場に環境保全米をPRするため、横断幕を設置しました。

県民会議は、同チームに環境保全米ひとめぼれを年間720キ（毎月60キ）提供し、練習後や試合の前後に選手らの補食（おにぎり等）として活用されています。

「みやぎの美味しいお米で応援します！」と書かれた横断幕の前に、原衣吹選手と西野朱音選手は「おいしい環境保全米を食べて、しっかりパワーをもらっています」と笑顔で語ってくれました。

同チームの管理栄養士で仙台大学の梅津龍助手は「練習後は、糖質やたんぱく質が不足する。おにぎりはすぐに食べることができ、腹持ちも良く、練習後の疲



横断幕の前で環境保全米をPRする原選手◎と西野選手◎

労回復にも良い食べ物だ」と話していました。

「2023-24 WE リーグ」は、11月11日（土）に開幕しました。マイナビ仙台レディースをみやぎの美味しいお米と一緒に応援しましょう!!

3 登米総合産業高等学校の出前授業がラジオ番組で放送



登米総合産業高等学校の生徒による出前授業

「環境保全米」をもっと多くの人に知ってもらうため、栽培に取り組む登米総合産業高等学校農業科の生徒6人が11月1日に、登米市立浅水小学校の5・6年生24人に、5時間目と6時間目を利用して「環境保全米」の出前授業を行いました。

生徒たちは、環境保全米の歴史や栽培の苦労、ドローンなどを活用するスマート農業などクイズ形式で小学生に紹介しました。

また、6時間目には、環境保全米「ササニシキ」を使った「アイデアおむすび」について、4班に分かれ高校生と一緒に考えてきました。8種類のアイデアおむすびが発表され、その中には宮城の名物の笹かまなどを入れて炊きこんだ「宮城のいいとおむすび」や「宮城のホやおむすび」など、短い時間でしたが目を見張るアイデアが飛び出しました。優秀な作品は、仙台市内のおむすび屋さんで商品化される予定です。そして、最後に「環境保全米を食べることは環境を守ることに繋がる。だから環境保全米をいっぱい食べて下さい」と呼びかけました。

この出前授業の様子は、tbcラジオ・ラジオな気分フライデー²「みんなあつまれ！学校ラジオ」で

11月から12月に4回に分けて放送されました。

登米総合産業高校の生徒が栽培した令和5年産環境保全米「ササニシキ」は、宮城県の食育推進月間（11月）に合わせて、登米市内の全小中学校31校と、5つの幼稚園の給食に提供されました。



高校生と一緒にアイデアおむすびを考える小学生

4 登米産の環境保全米が買える店「北一米穀店」

「登米産米は味、粒の形、炊きあがったときの香りがよい。思い切ってJAみやぎ登米さんにお問い合わせたら卸してもらえることになって…今も登米産の環境保全米にこだわって販売しています！」と代表取締役の田邊博康さんが語ります。お米は丁寧にお店で精米。「うちは配達メインだけど店頭販売もしているから、お客さんが『環境保全米ありますか？』ってお店に来てくれるように、環境保全米のことがより分かりやすく、より認知度が上がるといいですね！」と田邊さん。

取引先の飲食店には環境保全米を指名するところもあるとか。

販売品種：環境保全米ひとめぼれ、環境保全米ササニシキ、金のいぶき、だて正夢、つや姫など。

次号では「食べられるお店」を紹介します。ご期待ください！



大きな米の文字がお店の目印

SHOP INFORMATION

有限会社 北一米穀店

〒980-0012 仙台市青葉区錦町2丁目5-11

TEL/FAX 022-223-1738

営業時間：月～木 8:00～17:30 土 8:00～17:00 店休金・日・祝



2023環境保全米通信夏号のアンケートにご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。



5.環境保全米通信読者アンケートから



Q1 興味を持った記事は?その理由も。 Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

Q1 「環境保全米の研修会」

環境保全米の生育に至る経緯に胸が痛みました。しかし教訓を根本的に活かし改め変えた事実には農家さんや関係者の方々のお米や環境・未来について、改めて考えさせられました。

Q2 「TV放映されている環境保全米のPRのCM」

環境保全米のCM、米づくり過程の場面や、美味しそうに頬張り味わう児童の皆さんの表情、とても力強く頼もしさを感じる。何より、皆さんの表情が米の良さを強く物語っていますね。(仙台市・40代女性)

Q1 あいコープみやぎ「田んぼの生きもの調査」

実家が農家で40年近く前のことを思い出しながら読みました。確かにあの頃は田んぼには様々な生き物がいました。今もその頃と変わりのない稲作方法に共感を覚えました。

Q2 農業化学肥料不使用での稲作は大変な労力ですが、食品には添加物などでアレルギーになるものが増えています。なるべく添加物の少ないものを選んで買っています。米は毎日食べるもの、今後も農業の少ない米作りに期待します。(柴田町・70代女性)

Q1 あいコープみやぎ「田んぼの生きもの調査」

農業を使用する事が当たり前になる事で、何が失われるのかを理解する為にはとても重要な活動だと感じます。小さな生き物の存在に目を向け、農業の良し悪しを教育の中できちんと教えていく事で次世代の新しい農業の形や考え方が変わっていくのだと思います。

Q2 環境保全米を作られている農家さんの紹介などがあったら良いと思いました。(仙台市・30代女性)

読者の皆様からお寄せいただいた、疑問や取り上げて欲しいテーマについては、次号以降で取り上げていくよう努力してまいります。

Q1 「tbc夏祭りでのPR記事」

知名度アップに大切だからです!

Q2 毎号楽しく拝見しております。プレゼントが当たったら嬉しいです!! (富谷市・男性)

Q1 あいコープみやぎ「田んぼの生きもの調査」

「生き物の多様性とバランスが大事です」と報告の中にありました。まさにそうだな!と納得しました。ミジンコはわかりますが、ダニまでいるとは驚きです。

Q2

環境保全米を使用している飲食店などあるのかしら? (石巻市・40代女性)

A

事務局よりお答えします!

環境保全米通信バックナンバーで店舗や飲食店を取材しています。1面のQRコードより是非ご覧ください!!

(参考)これまでに取り上げたお店

●おむすび屋べにすずめ【仙台市青葉区】
(2023年1月冬号)

●ごはんと野菜の店ピオシーズ【仙台市青葉区】
(2023年3月春号)

●JA新みやぎファーマーズマーケット

「元気くん市場仙台店」【富谷市】

「元気くん市場仙台南店」【仙台市太白区】

(2023年6月夏号)

●おかしの家Kanon【登米市】

(2023年6月夏号)

ご感想をお寄せください

アンケートをお寄せいただいた方には抽選で、環境保全米2キログラムを10名様にプレゼント!

Q1 興味を持った記事は?その理由も。

【アンケート記入例】

Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法/次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

●アンケートの回答 ●お名前 ●年齢 ●ご職業 ●ご住所 ●電話(FAX)番号

いただいた回答および個人情報には当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切/2024年1月31日(水)消印有効 ※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

●応募先/NPO法人環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3 JAビル別館5F

TEL:022-261-7348 FAX:022-261-7488

E-mail:okome@epfnetwork.org URL:http://www.epfnetwork.org/

●アンケートの回答

Q1 _____

Q2 _____

●名前 保全米 太郎

●年齢 40才

●住所

〒980-0011
宮城県仙台市青葉区
上杉1-16-3

●電話番号

022-261-7348